



改元記念特集

広報誌で振り返る「平成」の幌延町

No.1

5月1日から新たに「令和」の時代を迎え、「平成」という一つの時代に幕が下ろされました。今月号から改元記念特集として、平成元年から5年ごとの広報誌を抜粋してご紹介していきます。平成時代の主な出来事を広報誌の誌面で少し振り返ってみます。皆さんも一緒に振り返ってみませんか。

広報ほろのべ 1989 5月 第301号

(平成元年5月号)



▲表紙は「高齢者スポーツ教室」でした。

【こんなことが掲載されました】

下サロベツ原野園地

幌延ビジターセンター5月1日オープン

下サロベツ原野の一角に建設を進めていた幌延ビジターセンターが、平成元年5月1日にオープンすることについて掲載されています。記事内では、建物を環境庁が建設し、内部の展示物等を幌延町が整備したことの説明がされているほか、1階展示室の設備やサロベツ原野で見られる動植物についても紹介されています。



お散歩とお風呂に入るのが大好きな顕大。「行くよ〜!」と準備を始めるお手足をバタつかせ全身で大喜び!! 最近はずりばいができるようになり家の中を探検して遊んでいます!!

井上 顕大くん

お父さん 千弘さん
お母さん 千幸さん
(平成30年8月24日生・間寒別)



ほろのべの裏窓

何かと慌ただしかった4月を駆け抜け、あつという間に5月です。今年のゴールデンウィークは10連休ということもあり、例年以上に満喫される方も多いのではないのでしょうか。さて、そんなゴールデンウィーク期間中の5月1日には元号が変わり、今月号は歴史ある幌延町の広報誌の中で、記念すべき「令和」第1号となりました。今月号から、今年の5月1日以降の日付けには「令和」の元号を使用していきますので、よろしくお願ひします。

● 広報へのご意見、ご要望をお寄せください ●
総務財政課総務グループ
電話 5-1111 / 告知端末機 5-8811



男	1,178	(-5)
女	1,124	(-12)
計	2,302	(-17)
世帯数	1,238	(-2)



三月定例俳句会作品

春眠の老体はるか雲の上
 俎の音もうつつや春の夢
 片眼ずつつむり直して朝寝かな
 春眠や体のどこかゆるみ出す
 ベランダの窓開け放し大朝寝
 玉手箱抱えて帰る春の夢

横山 貞雄
 富樫 堅一
 富樫 とも子
 佐藤 光朗
 熊谷 千恵子
 田中 徹男

幌延ほおずき俳句会

令和元年5月 発行/天塩郡幌延町
企画・編集/総務財政課総務グループ
幌延町ホームページアドレス/ http://www.town.horonobe.hokkaido.jp
印刷/株式会社須田製版